

若者の移動と女性活躍

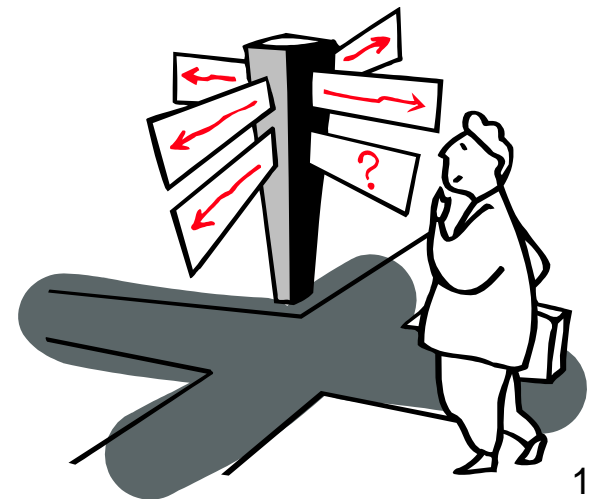
2021年6月14日

株式会社 日本総合研究所 主席研究員

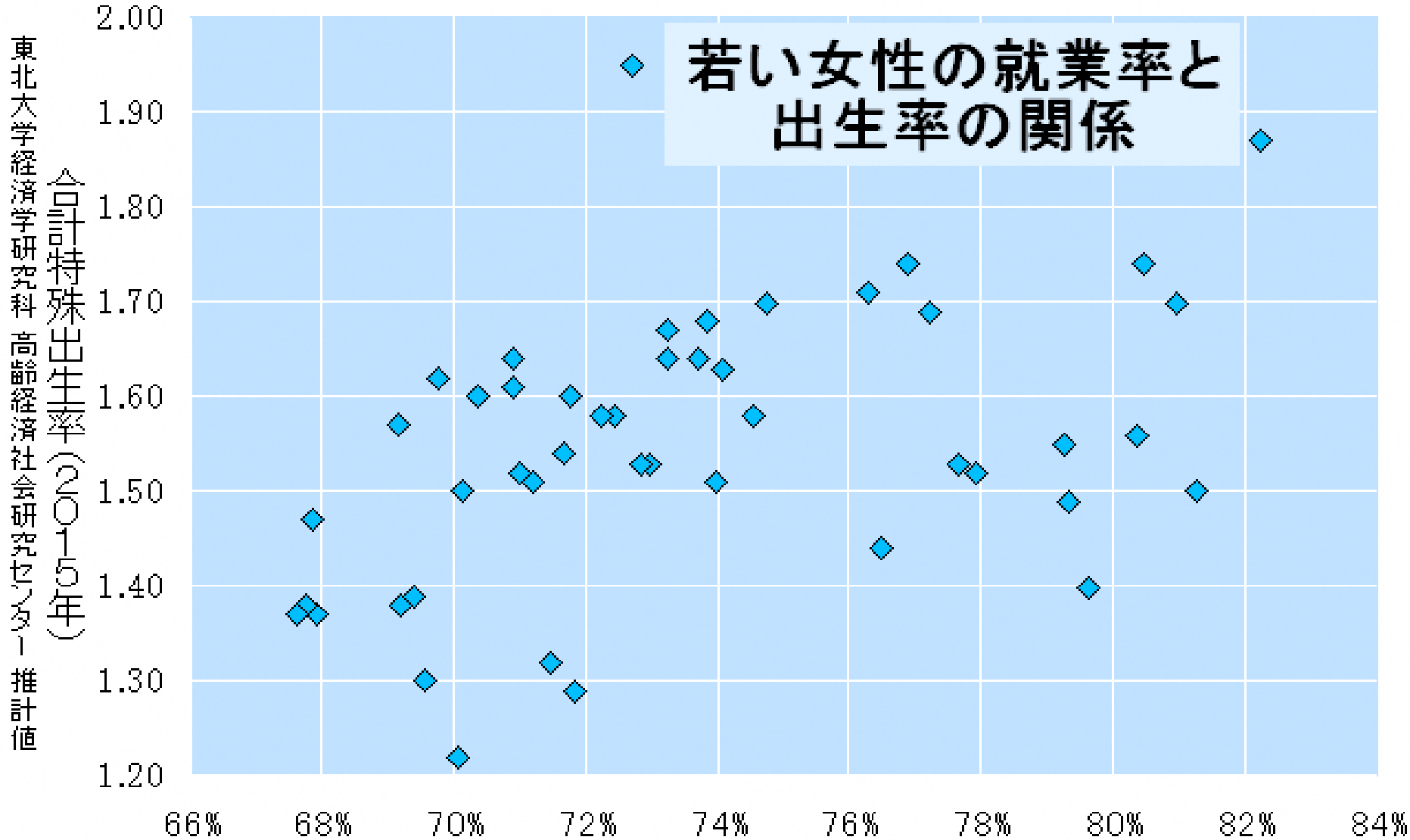
株式会社 日本政策投資銀行 地域企画部特任顧問

Fact Finder & Structure Perceiver
事実発見&構造把握業

もたに
藻谷浩介 kosuke@motani.com



若い女性が働くと出生が減る???



25~39歳女性の就業率(非正規含む) - 2015年国勢調査

※ 労働力状態未回答者数を、回答者の比率によって按分した試算

子供が増える地域にするには？

× 行政が入学時にランドセルを配る

- ← 祖父がやることを行政がやるな！（爺世代の発想…）
- ← 当事者＝現に子育て中の母親の意見を聞け！

× 乳幼児の母は仕事を辞めて子育てに専念できるようにする

- ← 何人産んでも働いて稼げる、母親が早期に職場復帰でき、柔軟に休める雇用環境をつくる
- ← 父親も子育て中は柔軟に休める文化をつくる
- ← 学童保育、病児保育、小児科医療を徹底充実

× 皆が結婚し2人ずつ子どもを持つような時代に戻す

- ← そんな時代など、昔から一度も存在しない!!
- ← 3人、4人兄弟姉妹が、家庭の事情に係わらず食べて着て育つ仕組みをつくる(里親の普及が鍵)

富山県で起きていたこと

2015年元旦→2020年元旦 住民票基準、居住外国人含む

総人口:2015.1.1 → 2020.1.1 $\Delta 29,700$ 人

人口はゆっくりと減少を続けている 

このまま続けば50年で15~44歳がゼロ!になるペースの、急速な減少

0-14歳人口の増減
↓絶対数 ↓増減
2015年 13.4万人 → 20年 12.1万人 $\Delta 13,100$ 人 $\Delta 10\%$

15-44歳人口の増減:
↓絶対数 ↓増減
2015年 36.0万人 → 20年 32.4万人 $\Delta 36,100$ 人 $\Delta 10\%$

45-69歳人口の増減:
↓絶対数 ↓増減
2015年 36.3万人 → 20年 35.2万人 $\Delta 11,100$ 人 $\Delta 3\%$

70歳以上人口の増減:
↓絶対数 ↓増減
2015年 22.9万人 → 20年 26.0万人 $+31,000$ 人 $+13\%$

富

2015年

なぜ富山県の

15～44歳は減ったのか？

最近5年間に

5.0万人が15歳を超えたが、
15～44歳が差し引き0.3万人転出し、
8.3万人が45歳を超えた。

新入生5.0万人－転校生0.3万人
－卒業生8.8万人で
3.6万人の減少…

70歳以上人口

2015年 22.9万人

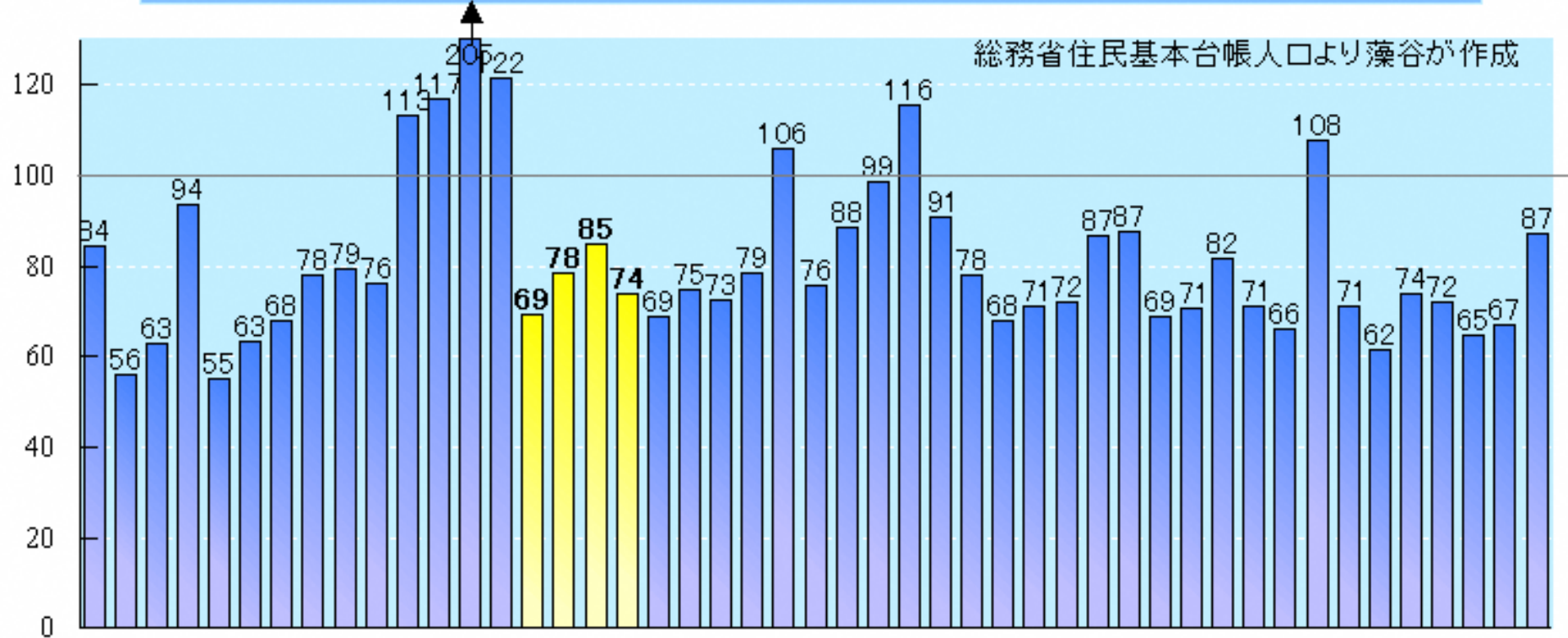
人

若い女性の出ていく県はどこか

30代前半世代の回帰率-日本人女性

0-4歳児100人が30年後に何人になっているかを、2015-20年のトレンドで試算

%



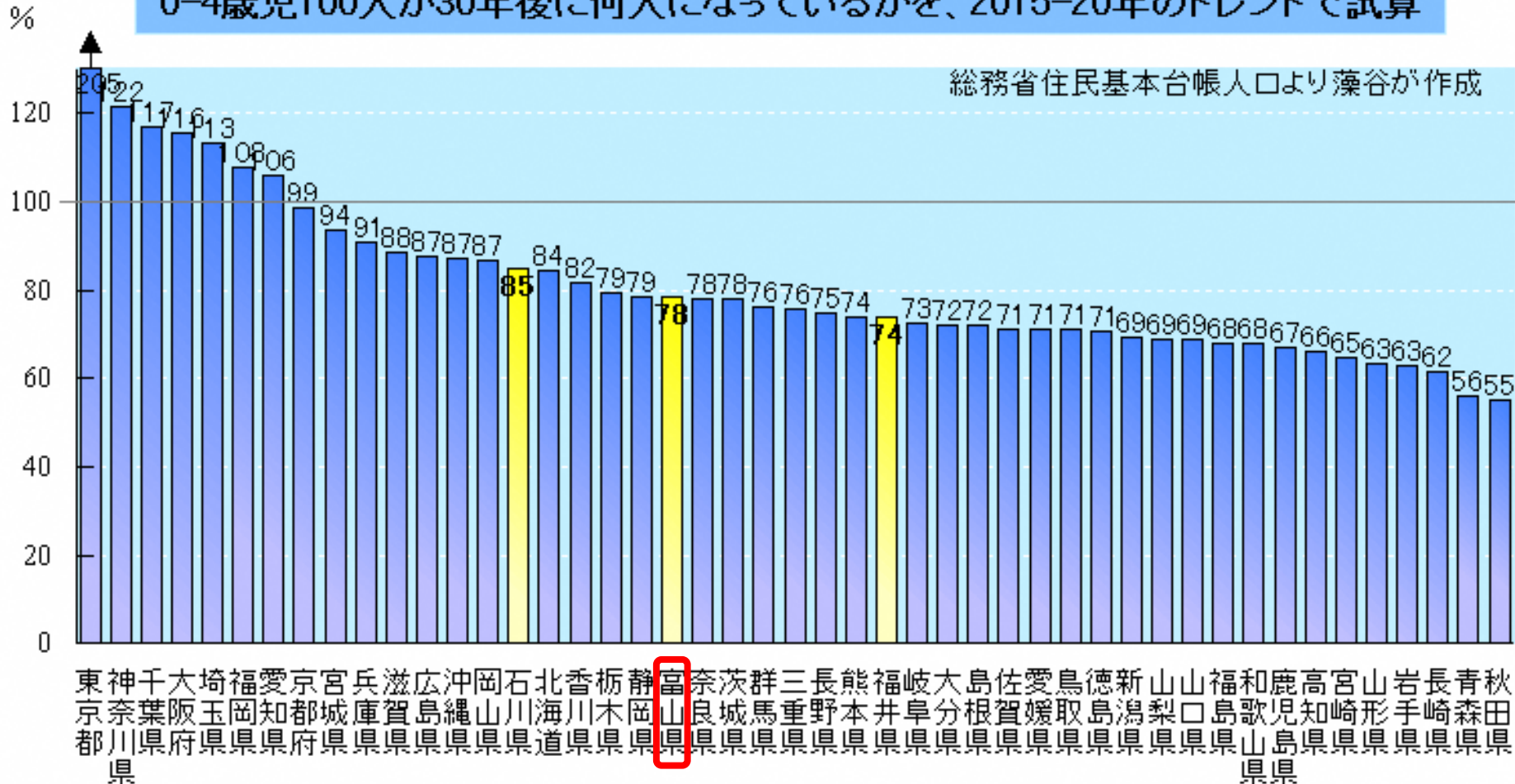
北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和鳥島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖
 海森手城田形島城木馬玉葉京奈瀧山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良歌取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児縄
 道県県県県県県県県県県都川県県県県県県県県県県県県県県府府県県山県県県県県県県県県県県県県県県
 県

計算方法: 2015年のX~X+4歳の人口と、2020年のX+5~X+9歳の人口を比較し、その増減率を計算
 → 100 × (20年の5-9歳 ÷ 15年の0-4歳) × (20年の10-14歳 ÷ 15年の5-9歳) × … × (20年の30-34歳 ÷ 15年の25-29歳) が上記の数字

富山は、地方ではそこそこましな方

30代前半世代の回帰率-日本人女性

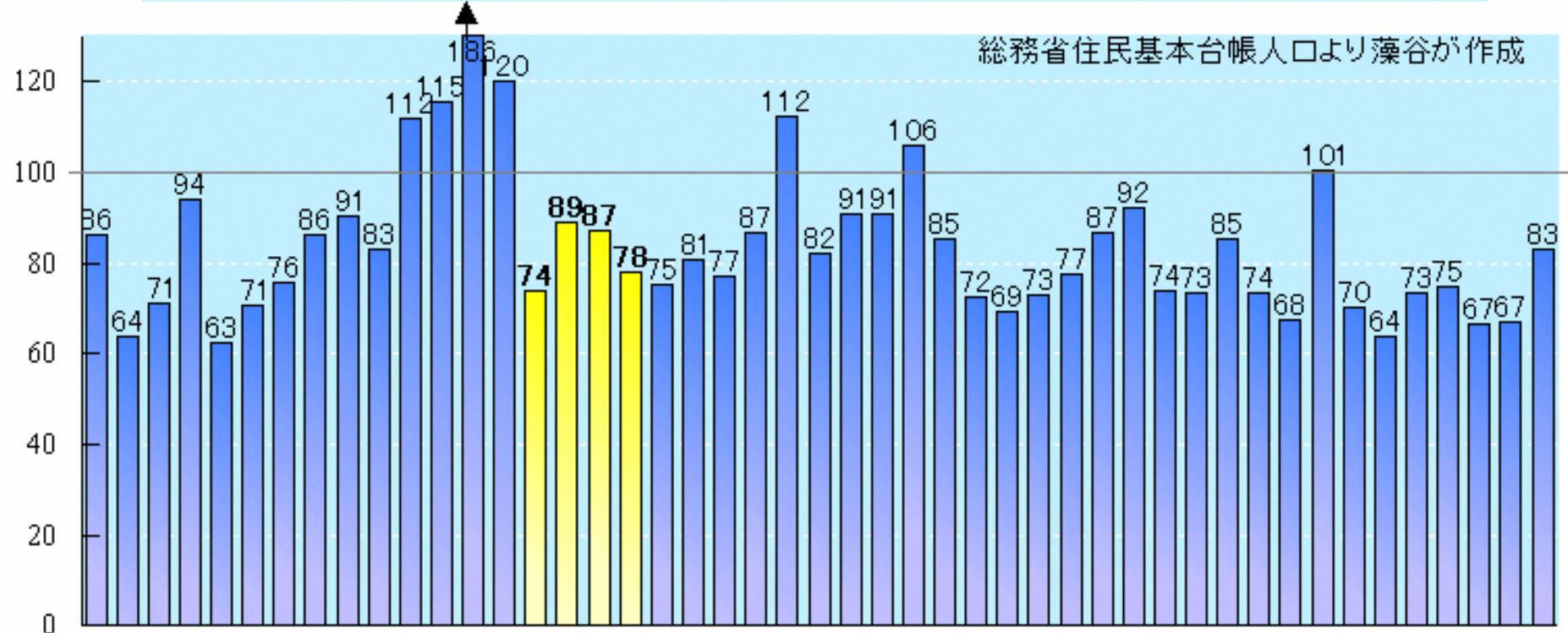
0-4歳児100人が30年後に何人になっているかを、2015-20年のトレンドで試算



計算方法: 2015年のX~X+4歳の人口と、2020年のX+5~X+9歳の人口を比較し、その増減率を計算
 → $100 \times (20\text{年の}5-9\text{歳} \div 15\text{年の}0-4\text{歳}) \times (20\text{年の}10-14\text{歳} \div 15\text{年の}5-9\text{歳}) \times \dots \times (20\text{年の}30-34\text{歳} \div 15\text{年の}25-29\text{歳})$ が上記の数字

では若い男性の出ていく県はどこか

30代前半世代の回帰率-日本人男性
 0-4歳児100人が30年後に何人になっているかを、2015-20年のトレンドで試算



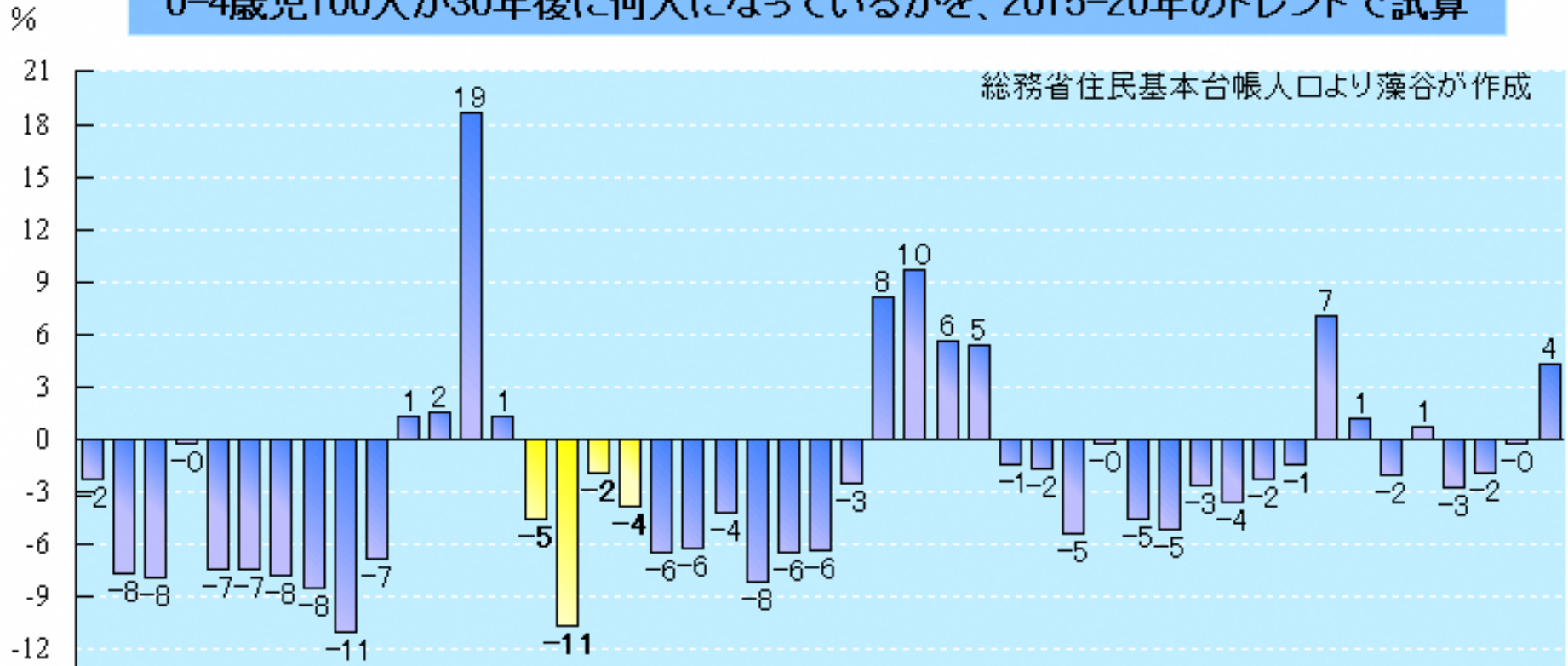
北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和鳥島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖
 海森手城田形島城木馬玉葉京奈潟山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良歌取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児縄
 道県県県県県県県県県県都川県県県県県県県県県県府府県県山県県県県県県県県県県県県県県県県
 県

計算方法: 2015年のX~X+4歳の人口と、2020年のX+5~X+9歳の人口を比較し、その増減率を計算
 → 100 × (20年の5-9歳 ÷ 15年の0-4歳) × (20年の10-14歳 ÷ 15年の5-9歳) × … × (20年の30-34歳 ÷ 15年の25-29歳) が上記の数字

しかし男女間の差を計算すると…

30代前半世代の回帰率-女性マイナス男性

0-4歳児100人が30年後に何人になっているかを、2015-20年のトレンドで試算



北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和鳥島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖
 海森手城田形島城木馬玉葉京奈潟山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良歌取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児縄
 道県県県県県県県県県都川県県県県県県県県県県府府県県山県県県県県県県県県県県県県県県県
 県

計算方法: 2015年のX~X+4歳の人口と、2020年のX+5~X+9歳の人口を比較し、その増減率を計算
 → $100 \times (20\text{年の}5-9\text{歳} \div 15\text{年の}0-4\text{歳}) \times (20\text{年の}10-14\text{歳} \div 15\text{年の}5-9\text{歳}) \times \dots \times (20\text{年の}30-34\text{歳} \div 15\text{年の}25-29\text{歳})$ が上記の数字

なぜ男は残り女は出ていくのか？

旧来の見方：

- ☆ 賑わいがなく消費環境が寂しい
- ☆ 都会に簡単に遊びに行けない

そうではなく現実には：

- ☆ 女性に種々の社会的抑圧がある
- ☆ 管理職・経営層が男性ばかり
- ☆ 輝く女性のロールモデルがない

地方の中でも東北と富山が特に顕著

なぜ男性が経営者になるのか？

旧来

経営力ある女性が出ていく傾向、

サービスに高いお金を払わない風土は、

B to C 産業、特に（国際）観光にマイナスに働いており、

★ 県の産業構造の革新を遅らせているのではないかと

地方の中で、特に顕著

地域活性化の鍵：女性経営者増加

日本はモノ余り・カネ余りの高度消費社会 → 客はバブル期までとは別人種 → 欲求が高度化、抽象化、多様化

→ 自分自身が客としてのセンス・能力を磨いていない人間（豊かさを知らない人間）にこれからのB to C経営はできない

ところが多いの地方では、客の気持ちに無関心な高齢の男性が、40年前のままの感覚でトップを取り続けている → そのために客が逃げ、経済の衰退が著しい

地域活性化のためにいま一番必要なのは、地域の様々な主導的立場から、その任にない人や団体を退場させ、新しい人材や団体に厳しい役割を与えて練成していくこと

必要なのは、性別年齢を問わない地域の人材力の総結集 → 結果として必ず、女性が地域づくりの前面に出てくる¹⁵

女性役職者を意図的に増やそう

× 男性候補だけでも十分に数は足りる

←→ 多年の少子化で年々新卒者が減っている中、女性の活躍できない企業の未来はない

←→ 収入の高い女性の増加こそ、真の景気拡大策

× 出産、子育てに時間を取られる女性に、役職者は勤まりにくい

←→ 長時間労働に耐えた人間が役職につくというシステムは、もはや時代遅れの不合理

←→ 男性から、出産や子育て関係の労働を免除してきた帰結が、今の日本の人口減少

× 女性役職者増で、少子化→人口減少に拍車がかからないか？

←→ 役職者＝男という体制の下で、過去40年間、企業社会は少子化をまったく放置

経営者/団体トップ層へのご忠言

× 若い者は根性が足らん、景気が回復すれば乗り切れると信じる

←→ 景気回復(実は現役人口増加)が企業戦略の不在を補ってくれた時代は二度と来ない。

根性ではなく理性、高度成長へのノスタルジーではなく未来に生き残っていく勇気が必要。

× 女は使えない、女はすぐ辞める、女の給料は低くていい、と信じる

←→ 女性を使えない、女性が辞めていく、女性にいい給料を払えない組織からつぶれていく。

× 収入減を人件費カットと労働強化でしのぐ

←→ 消費者の感性を持つ経営で、値上げできる商品・サービスを開拓し、賃上げで地域市場を、時短で地域の出生を拡大する。

退職年齢に達した世代への期待

× **まだまだ若い者に負けず、企業経営者としてバリバリと働く**

←→ 働く若い女性の代わりに家事を引き受け、余った時間は心豊かに遊び、貯金を地域内できれいに使い切り、後の世代に雇用と文化と、老後はこう暮らすんだという手本を残す

× **区長など、地域社会のリーダーとして、生き生きと活動する**

←→ 人に指図せず、権限闘争、路線闘争もせず、人目につかないところで黙々と世間さまのお役に立ち、一隅を照らす存在になる

× **世の中の根本の誤りを正し、日本社会を正しい方向に導く**

←→ 口よりも手を動かして身近な人の役に立ち、地域と親族から愛され惜しまれる人となる